

## 平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
五條市	五條市立阪合部小学校

## 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

- 地域の教育力を学校教育にも取り入れ、学力・体力向上や教育環境の整備にもつなげる。また、学校行事やPTA活動を活性化し、学校からの情報発信によって、家庭の教育力の向上を目指す。
- 開かれた学校を目ざす中で、児童・教職員が地域の行事に積極的に参加すると共に、学校行事や学習活動にも地域の方々を招き、「ふるさと阪合部」に誇りを持ち地域の伝統・文化を担う児童を育てる。

## 2 特徴的な取組の概要

## ○ 相谷いきいきクラブで農業体験

6月、「相谷いきいきクラブ」のみなさんのご協力で、1・2年生がさつまいもの苗付けを、4年生は田植えを体験しました。4年生児童は、田植機にも試乗させていただき、田植えの今と昔の両方を体感しました。この水田や畑は通学路に面しており、日々の成長を観察することができます。

半年後の10月には、収穫体験です。1・2年生の中には、大きなサツマイモを3kg以上も収穫した児童もいました。4年生は、稲刈りだけでなく、相谷ライスセンターを見学させていただき、機械化された乾燥・脱穀。袋詰め工程を勉強しました。



## ○ 子ども鬼はしり

今年で531回目を数える国指定重要無形民俗文化財「鬼はしり」が、1月14日行われました。その伝統ある「鬼はしり」の後継者育成と村の伝統行事を知るということを目的に、鬼はしり保存会では、9年前から「子ども鬼はしり」も指導しています。

本校からは13名の男子児童が参加、年末の練習を経て、当日4時15分からの本番にのぞみました。3匹の鬼役は、例年、中1の男子生徒から選ばれるようで、阪小児童たちは先輩のサポート役です。それでも、佐・水天・棒打・法螺貝・太鼓・鉦などの大切な役割があり、将来の鬼役を夢見ながら地域の伝統行事を体感していました。

